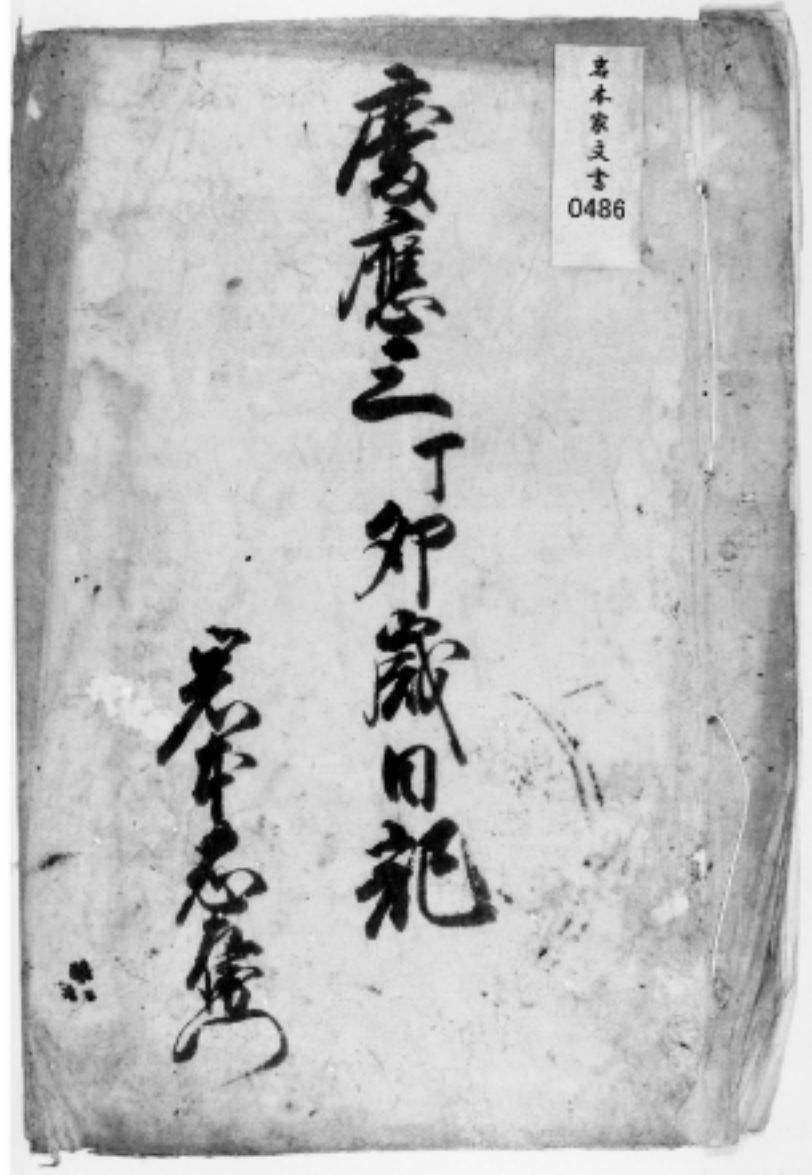


# 最後の代官

⑥

## 忠左衛門日記

10月30日から里町の市 取り上げられていない  
資料館で特別展示が始 数々の話がある。  
まったが、展示会場では 忠左衛門の安政3年



忠左衛門が残した慶応3年の日記（市資料館提供）

(1856)の日記によ とが発覚した。綾部城下の町屋で逮捕さ  
ると、十倉村で賭博が流 渡辺は住民たちの監視 れる事件も起きた。 そんな中、同年1月  
行して多くの役人たちが 役であるにもかかわらず 一方、慶応3年(18 56)の日記には十倉領  
処罰されたという。 賭博の席にいながら注意 67)の日記には十倉領 を命ぜられた5人が  
帰ってきた。表向き は、江戸屋敷の経費節 減のために解雇されたと  
なっているが、一度 に5人も帰村するのは 異例のこと。

## 賭博が流行し役人を処罰

### 日記の中には様々な「事件」の逸話も

同年1月24 日、大庄屋見 習の渡辺傳之 助を始め村民 たちの間で賭 博が行われて いると聞いた 陣屋側が調査 を実施。2月 下旬には十倉 村全体に広 がっているこ 倉村の住民が賭博のため 対象者が処罰される騒ぎ  
もしなかったとして、同 日、大庄屋見 習の渡辺傳之 助を始め村民 たちの間で賭 博が行われて いると聞いた 陣屋側が調査 を実施。2月 下旬には十倉 村全体に広 がっているこ 倉村の住民が賭博のため 対象者が処罰される騒ぎ  
じく監視の立場にあった 足軽の渡辺茂平と共に退 態に関する記述がある。 このころ、江戸屋敷で の仕事は人気がなく、村 からの手当を増やしてま で人手を確保していた。 十倉では、出稼ぎに出 ている若者や年貢滞納者 の中から抽選で選ぼうと したが、それを拒否した た結果の出来事だっ た。(岡田圭司記者)